

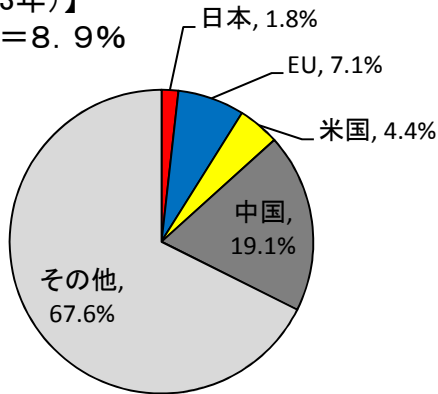
日EU・EPA

1. 日EU・EPAの必要性

- EUは我が国にとって、民主主義、法の支配、基本的人権といった**基本的価値を共有する重要なグローバルパートナー**。EUは総人口約5億人(日本の約4倍)、世界のGDPの約24%(同約4倍)、我が国輸出入総額の約10%を占める我が国にとっての主要貿易・投資相手。
- 日EU・EPAは関税撤廃や投資ルールの整備等を通じて**貿易投資を活発化**し、雇用創出、企業の競争力強化等を含む**経済成長に資する**。また、同EPAは**日本企業の欧州市場進出を促進**する。
- 新興国が台頭するグローバル経済において、先進市場経済圏である日EUの間のEPAは、世界経済の安定的成長に貢献しつつ、**グローバルな貿易・投資のルール作りに寄与**する。
- 日EU・EPAは日米欧3極が更なる経済関係の深化のために実現を目指す**TPP(環太平洋パートナーシップ協定)及びTTIP(EU米FTA)と並ぶ「メガFTA」の一つ**。

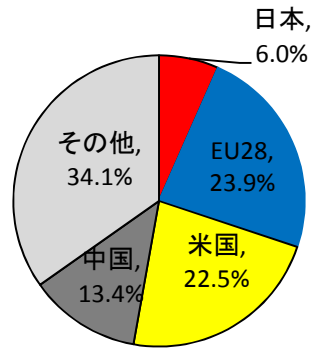
【人口(2013年)】

日本+EU=8.9%



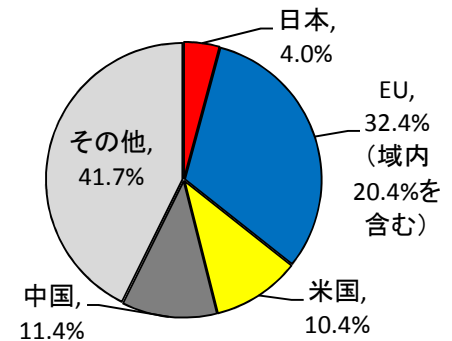
【GDP(2014年)】

日本+EU=29.9%



【貿易(輸出+輸入)(2014年)】

日本+EU=36.4%



	人口 (2013年, 百万人)	シェア (%)
日本	127	1.8%
EU	507	7.1%
米国	316	4.4%
中国	1,357	19.1%
その他	4,817	67.6%
世界計	7,125	—

	GDP (2014年, 10億ドル)	シェア (%)
日本	4,616	6.0%
EU	18,495	23.9%
米国	17,419	22.5%
中国	10,380	13.4%
その他	26,391	34.1%
世界計	77,302	—

	貿易【輸出+輸入】 (2014年, 10億ドル)	シェア (%)
日本	1,502	4.0%
EU	12,177	32.4%
(内, 域内)	7,662	20.4%
米国	3,969	10.4%
中国	4,306	11.4%
その他	15,677	41.7%
世界計	37,632	—

日EU・EPA

2. 日EU双方の関心事項

- 日本側の主たる関心事項は、EU側の**鉱工業品等の高関税の撤廃**(例:乗用車10%, 電子機器最大14%)。その実現は、欧州市場における日本製品の競争条件を改善する。また、交渉では、**日本企業が直面する規制上の問題**などを積極的に取り上げる。
- EU側の主たる関心事項は、自動車, 化学品, 電子機器, 食品安全, 加工食品, 医療機器, 医薬品等の分野における**非関税措置**への対応。また、**政府調達分野(鉄道等)**, **EU側主要輸出品目の関税撤廃**もEU側の関心事項。

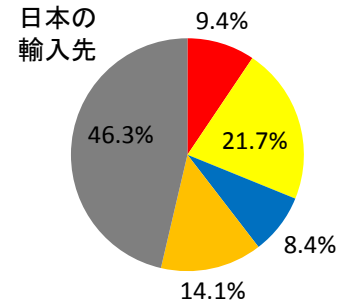
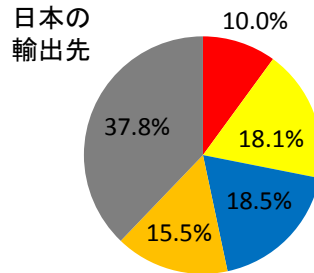
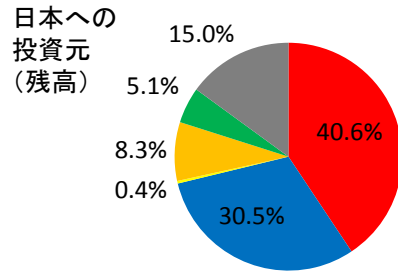
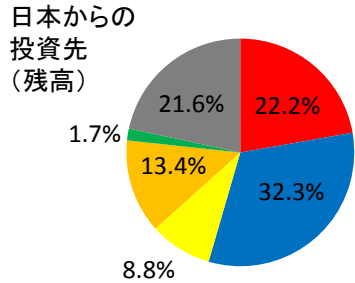
3. 日EU・EPAの経緯

2011年5月	日EU定期首脳協議でEPA/FTA交渉の大枠を定めるスコーピング作業の開始に合意。
2012年7月	同作業の終了を受け、欧州委員会として交渉権限を理事会(EU加盟国)に求めることを正式決定。
2012年11月	EU外務理事会で交渉権限(マンデート)が採択され、日EU・EPA交渉開始に向けた環境が整った。
2013年3月	日EU首脳電話会談で、 日EU・EPA交渉開始を決定 。
2013年4月	第1回交渉会合開催(於:ブリュッセル)。
2013年6月	第2回交渉会合開催(於:東京)。
2013年10月	第3回交渉会合開催(於:ブリュッセル)。
2014年1月	第4回交渉会合開催(於:ブリュッセル)。
2014年3月-4月	第5回交渉会合開催(於:東京)。

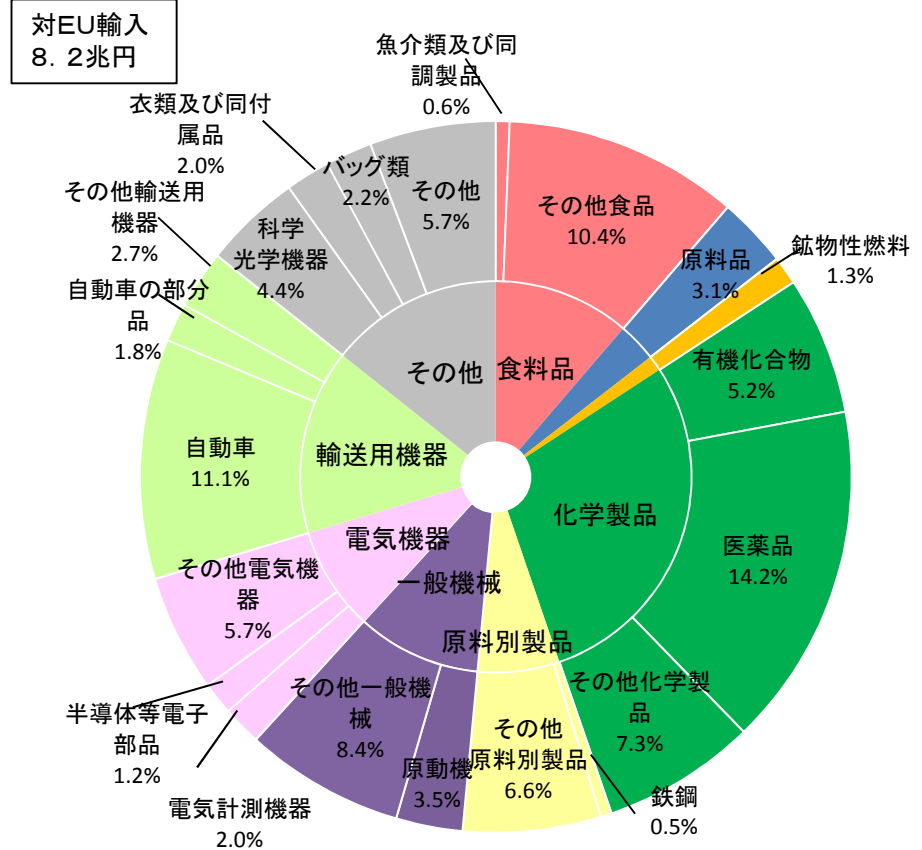
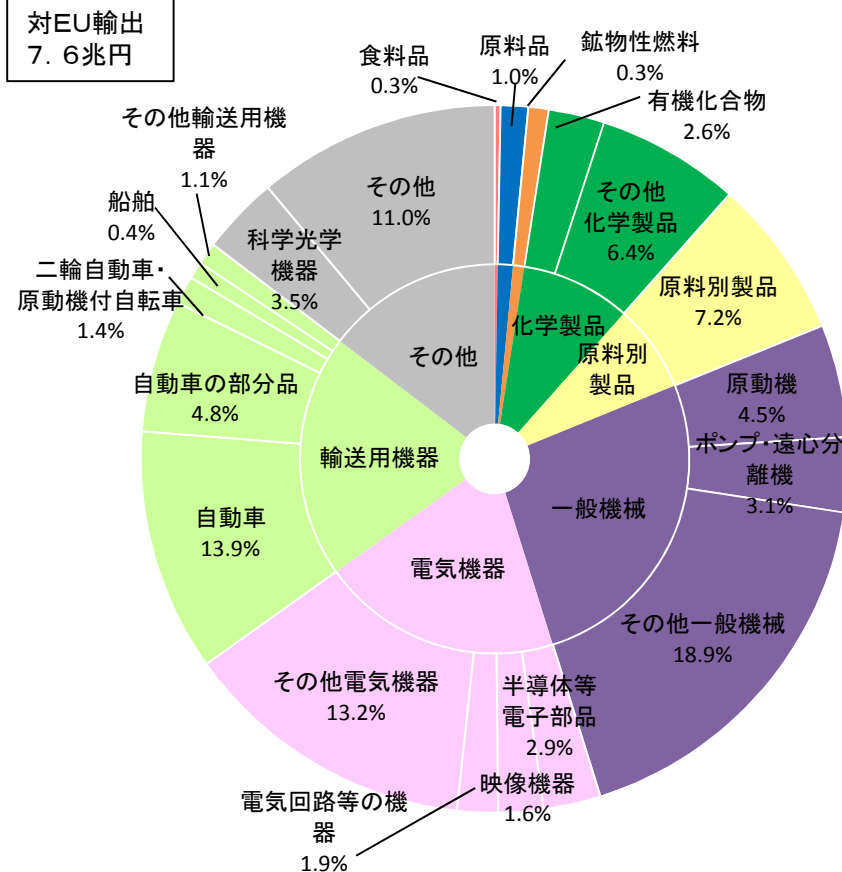
3. 日EU・EPAの経緯(続き)

- 2014年4月-5月 **安倍総理の欧州訪問**(ドイツ, 英国, ポルトガル, スペイン, フランス, ベルギー)に際して, 総理から, **2015年中の大筋合意**を目指したいとの考え方を様々な機会に伝え, 欧州各国及びEUの首脳との間で**早期締結の重要性**につき一致。
- 2014年6月 **安倍総理のベルギー及びイタリア訪問**に際して, EU首脳及びレンツィ伊首相と**早期締結の重要性**につき一致。
- 2014年6月 **EU側による交渉開始1年後の「見直し」が終了。**
- 2014年7月 第6回交渉会合開催(於:東京)。
- 2014年10月 第7回交渉会合開催(於:ブリュッセル)。
- 2014年11月 **G20ブリスベン・サミットの際に行われた日EU首脳会談において, 2015年中の大筋合意を目指し, 交渉を加速させることで一致。**
- 2014年12月 第8回交渉会合開催(於:東京)。
- 2015年1月 **岸田大臣の欧州訪問**の際に, マルムストローム貿易担当欧州委員との会談において, **本年中の大筋合意という目標は, 野心的ではあるが実現可能な目標**であるとして, 包括的かつ高いレベルのEPAの実現に向けて, 交渉を更に加速させていくことを確認。
- 2015年2月 第9回交渉会合開催(於:ブリュッセル)。
- 2015年4月 第10回交渉会合開催(於:東京)。
- 2015年5月 **日EU定期首脳協議において, スピードと質の両方を重視しつつ, 本年中の大筋合意を目指し, 交渉を更に加速させていくことで一致。**
- 2015年7月 第11回交渉会合開催(於:ブリュッセル)。
- 2015年9月 第12回交渉会合開催(於:東京)。
- 2015年10月 第13回交渉会合開催(於:ブリュッセル)(調整中)。

(参考)日EU貿易投資構造



(出典: 日本銀行国際収支統計(いずれも2014年データ))



(出典: 財務省 貿易統計 2014年)